

# 岡山県産構造用製材のスパン表の作成

研究期間：H23～25年度

## 1 目的

森林研究所木材加工研究室においては、これまで20年以上にわたり、岡山県産のスギ、ヒノキ、アカマツ等主要樹種の構造用製材の曲げ、圧縮をはじめとする各種強度データを収集してきた。

県産材を使った住宅の信頼性を確保するためには、使用される部材の強度を把握しておくことが必要であり、県内製材業者、工務店、建築士等から、このことに関する技術相談がこれまで多数寄せられてきた。これまでは、担当者が各相談者の内容を聞いた上で、収集してきた強度データを利用しながら、個別に技術資料を作成して提供してきた。

しかし、建築基準法の改正や住宅品質確保法の制定など法的な品質保証を求められる時代が到来しており、今後は県産材の強度に関する標準的な資料を作成し、普及の効率化と強度データ利用者の利便性を図ることが強く求められている。

今後、強度的データとして最も使用頻度が高くなると予想されるものにスパン表があり、既存のデータに加え、新たに追加データや関係者の意見を収集した上で、岡山県産材に最適なスパン表を作成する。

## 2 全体計画

### 1) 23年度

県内の木材関係団体、建築関係団体等に対する意見聴取等、県産材の強度データの追加測定

### (2) 24年度

県産材の強度データの追加測定、スパン表の作成

### (3) 25年度

県産材の強度データの追加測定、スパン表の作成、冊子等普及資料の作成、普及

## 3 結果

### (1) 県内の木材関係団体、建築関係団体等に対する意見聴取

JIA岡山地域会、岡山建築設計クラブ、岡山県登録建築士事務所等の中から木造建築に取り組んでいる会員104名にアンケートを実施し、76名から回答を得た。

その概要は、別紙の通り。

### (2) 県産材強度データのまとめ

追加測定や新たに解析したデータを含むに県産材の強度について、「県産材サポーター養成講座テキスト」にまとめ、公表した。

### (3) スパン表の作成

(1)項のアンケート結果を満足する条件で、スパン表を作成した。

(別紙「スパン表の概要」参照)

## 4 成果の活用

### (1) 成果の公表

スパン表はMS-excelのワークシートで作成したが、よく使われる条件について、紙のスパン表（冊子）として、随時、関連団体等に提示した。

### (2) 普及状況

公開したスパン表は、県内関連団体（緑のネットワーク等）の事業に活用された。現在も、スパン表を必要とする県内事業者（工務店、製材等）に適宜、配布している。

(現在までに数百部配布済み)